

# Biz ホスティング Enterprise Cloud Office 365 ハイブリッドオプション マイクロソフト オンライン サービス 使用権説明書

日本語 (Japanese) | 2015 年 6 月 1 日



# 目次

<b>共通の使用条件</b> .....	<b>5</b>	Skype for Business Server 2015	24
定義	5	Windows MultiPoint Server 2012 Premium	25
お客様の使用権	7	Windows MultiPoint Server 2012 Standard	27
他のバージョンを使用する権利	7	<b>オンライン サービス (ユーザーまたはデバイス サブスクリプション</b>	
第三者のソフトウェア	7	<b>ライセンス、サービス サブスクリプション ライセンス、およびアドオ</b>	
プレリリース コード	7	<b>ン サブスクリプション ライセンス) .....</b>	<b>30</b>
更新プログラムおよび追加物	7	<b>付録 1: 注意/特記事項 .....</b>	<b>31</b>
商業的ホスティングの禁止	7		
技術的な制限	7		
その他の権利	7		
ドキュメンテーション	8		
ソフトウェア管理のアウトソーシング	8		
ライセンスの再割り当て	8		
製品のアクティベーション	8		
追加の機能/オプションのサービス	9		
複数の製品または機能の同時使用	9		
フォント コンポーネント	9		
Windows ソフトウェア コンポーネント	9		
ベンチマーク テスト	10		
再頒布可能コード	10		
ソフトウェア プラス サービス	11		
インスタンスの作成と格納	11		
ソフトウェアの分離の禁止	11		
<b>デスクトップ アプリケーション (デバイスごと)</b> .....	<b>12</b>		
Access 2013	13		
Excel 2013	13		
Excel for Mac 2011	13		
InfoPath 2013	13		
Lync for Mac 2011	13		
Office for Mac Standard 2011	13		
Office Multi Language Pack 2013	14		
Office Professional Plus 2013	14		
Office Standard 2013	15		
OneNote 2013	15		
Outlook 2013	15		
Outlook for Mac 2011	15		
PowerPoint 2013	16		
PowerPoint for Mac 2011	16		
Project Professional 2013	16		
Project Standard 2013	16		
Publisher 2013	16		
Skype for Business 2015	16		
Visio 2013 Professional	16		
Visio 2013 Standard	17		
Word 2013	17		
Word for Mac 2011	17		
<b>サーバー - サーバー/CAL (サーバー ライセンス + CAL + オプ</b>			
<b>ションのエクスターナル コネクタ)</b> .....	<b>18</b>		
Exchange Server 2013 Enterprise	19		
Exchange Server 2013 Standard	20		
Microsoft Office Audit and Control Management Server 2013	21		
Project Server 2013	22		
SharePoint Server 2013	22		

## ライセンスの種類

取得するライセンスの種類は、お客様の契約での提供内容および発注内容によって異なります。オンライン サービスなどの一部の製品は、サブスクリプション ライセンスにのみ基づいて提供されます。他の製品は、ライセンスを取得したマイクロソフト ボリューム ライセンス プログラムによって、永続的ライセンスもしくは固定期間ライセンスに基づいて、またはサブスクリプション ベースで提供されます。お客様の契約に基づいて、および特定の製品について提供されるライセンスの種類については、お客様のボリューム ライセンス契約およびマイクロソフト製品表 (<http://go.microsoft.com/?linkid=9839207>) を参照してください。

## 製品に適用される使用条件の確認方法

特定のライセンス製品の使用には、共通の使用条件、ライセンスを取得した製品に適用されるライセンス モデルの標準の使用条件、および製品固有の使用条件が適用されます。

### 共通の使用条件

共通の使用条件は、標準の使用条件または製品固有の使用条件に明記されている場合を除き、マイクロソフト ボリューム ライセンスにより使用許諾されるすべての製品に適用されます。

### 標準の使用条件

標準の使用条件は、製品固有の使用条件に明記されている場合を除き、特定のライセンス モデルで使用許諾されるすべての製品に適用されます。

### 製品固有の使用条件

製品固有の使用条件は、かかる条件の下に記載されている製品にのみ適用されます。



## ライセンス モデル

マイクロソフト ボリューム ライセンスにより使用許諾される製品の取得には、以下の 9 つのライセンス モデルが適用されます。

<ul style="list-style-type: none"> <li>デスクトップ アプリケーション</li> <li>デスクトップ オペレーティング システム</li> <li>サーバー: プロセッサ/CAL</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバー: サーバー/CAL</li> <li>サーバー: コアごと</li> <li>管理サーバー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特殊なサーバー</li> <li>開発ツール</li> <li>オンライン サービス</li> </ul>
--	--	--

一部の製品は複数のライセンス モデルで提供されることがありますのでご注意ください。また、一部の製品は 2 つ以上のモデルを組み合わせたライセンス モデルで使用許諾されます。このような製品については、各ライセンス モデルの項の後の複合ライセンス モデルの項で説明しています。

## 注意/特記事項

[付録 1](#) には、製品固有の使用条件に記載のとおり、各種製品に関する注意/特記事項を記載しています。

## 旧バージョンおよび世界的な販売が終了した製品

本製品使用権説明書は、マイクロソフト製品の最新バージョンについて記載しています。製品の旧バージョンに適用される使用条件について記載されている本書の旧バージョンは、<http://www.microsoftvolumelicensing.com/userights/PURRetired.aspx> からご利用いただけます。また、<http://www.microsoft.com/licensing/about-licensing/product-licensing.aspx> で過去の製品使用権説明書を参照することができます。ご希望のバージョンが見つからない場合は、マイクロソフトの担当者またはリセラーにご連絡ください。

## 説明および変更事項の概要

本製品使用権説明書は、Microsoft 製品のライセンス取得とかかる製品の利用の管理が容易になるように構成されています。以下では、最近行われた製品使用権説明書の追加、削除、および他の変更について説明します。また、必要に応じて、お客様からよく寄せられるご質問に対応するため、マイクロソフトのライセンス方針に関する明確化事項についても記載しています。

追加	削除
<ul style="list-style-type: none"><li>Skype for Business 2015</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>Lync 2013</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>Skype for Business Server 2015</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>Lync Server 2013</li></ul>

### Lync Online

Lync Online を Skype for Business Online に変更しました。

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## 共通の使用条件

本使用条件は、お客様がボリューム ライセンス契約に基づいて使用するマイクロソフト ソフトウェアおよびオンライン サービスに共通して適用されます。

### 定義

本製品使用権説明書で使用されている用語のうち定義がないものについては、お客様のボリューム ライセンス契約における定義が適用されます。また、以下の定義も適用されます。

**追加 CAL** とは、ベース CAL と組み合わせ使用しなければならない CAL をいいます。

**追加エクスターナル コネクタ ライセンス**とは、ベース エクスターナル コネクタ ライセンスと組み合わせ使用しなければならないエクスターナル コネクタ ライセンスをいいます。

**CAL** はクライアント アクセス ライセンス (Client Access License) の略称です。CAL には、ユーザー CAL とデバイス CAL の 2 種類があります。ユーザー CAL では、1 名のユーザーが任意のデバイスからサーバー ソフトウェアにアクセスできます。デバイス CAL では、任意のユーザーが 1 台のデバイスからサーバー ソフトウェアにアクセスできます。

**クライアント OSE** とは、クライアント オペレーティング システムを実行する OSE をいいます。

**クラスター HPC アプリケーション**とは、複雑な計算問題や密接に関係した複数の計算問題を並行処理で解決できる高性能コンピューティング アプリケーションをいいます。クラスター HPC アプリケーションは、複雑な計算問題を、Microsoft HPC Pack やこれに類似する HPC ミドルウェアが提供するようなジョブ スケジューラーによって調整される一連のジョブとタスクに分割します。これらのジョブとタスクはジョブ スケジューラーによって、1 つの HPC クラスター内で動作する 1 台または複数のコンピューターに並行して分散されます。

**クラスター ノード**とは、クラスター HPC アプリケーションを実行またはクラスター HPC アプリケーション用のジョブ スケジュール サービスを提供するための専用デバイスをいいます。

**コア係数**とは、サーバー上のすべての物理コアにライセンスを適用するために必要なライセンスの数を判断することを目的として、特定の物理プロセッサに関連付けられた数値をいいます。

**Core Infrastructure Server (CIS) ソフトウェア**とは、CIS Suite ライセンスの特定のエディションに基づいてお客様が使用、アクセス、または管理する権利を許諾される個々のマイクロソフト製品のセットです。CIS ソフトウェアには、ソフトウェア アシユアランスの有効期間中に提供される当該製品の最新バージョン (およびその旧バージョン) が含まれます。

**顧客データ**とは、お客様によるオンライン サービスの利用を通じて、お客様またはお客様の代理人によってマイクロソフトに提供される、すべてのテキスト、音声、または画像ファイルおよびソフトウェアを含むすべてのデータをいいます。

**サイクル ハーベスティング ノード**とは、クラスター HPC アプリケーションまたはクラスター HPC アプリケーション用のジョブ スケジュール サービスの実行専門ではないデバイスをいいます。

**エクスターナル コネクタ ライセンス**とは、外部ユーザーによるサーバー ソフトウェアへのアクセスを許可する、サーバーに割り当てるライセンスをいいます。

**外部ユーザー**とは、お客様またはお客様の関連会社の従業員ではないユーザー、またはお客様またはお客様の関連会社のオンサイトの契約業者または代理店ではないユーザーを意味します。

**ハードウェア スレッド**とは、物理コア、または物理プロセッサ内のハイパースレッドをいいます。

**ハイ パフォーマンス コンピューティング (HPC) ワークロード**とは、本サーバー ソフトウェアが、クラスター ノードを実行するために使用され、クラスター ノードでのセキュリティ、ストレージ、パフォーマンスの強化、およびシステム管理に必要な場合にクラスター HPC アプリケーションのサポートを目的として他のソフトウェアと組み合わせ使用されるワークロードをいいます。

**インスタンス**とは、ソフトウェアのセットアップまたはインストール手順を実行すること、または既存のインスタンスを複製することにより作成されるソフトウェアのイメージをいいます。

**ライセンスを取得したデバイス**とは、ライセンスが割り当てられた単一の物理ハードウェア システムをいいます。この定義において、ハードウェアのパーティションまたはブレードは、別個のデバイスと見なされます。

**ライセンスを取得したサーバー**とは、ライセンスが割り当てられた単一のサーバーをいいます。この定義において、ハードウェアのパーティションまたはブレードは、別個のサーバーと見なされます。

**ライセンスを取得したユーザー**とは、ライセンスが割り当てられた個人をいいます。

**管理ライセンス**とは、1 つまたは複数の OSE の管理を許諾するライセンスです。管理ライセンスには、サーバー管理ライセンスとクライアント管理ライセンスの 2 つのカテゴリがあります。クライアント管理ライセンスには、ユーザー、OSE、およびデバイスの 3 種類があります。ユーザー管理ライセンスにより、1 人のユーザーがアクセスする任意の OSE を管理することができます。OSE 管理ライセンスにより、任意のユーザーがアクセスする 1 つの OSE を管理することができます。デバイス管理ライセンス (Core CAL または Enterprise CAL Suite) により、1 台のデバイス上の任意の OSE を管理することができます。

**OSE を管理する**とは、直接または間接的に OSE と関連付けられているハードウェアまたはソフトウェアに関するデータを収集もしくは受信すること、その設定を行うこと、またはそれらに指示を与えることをいいます。デバイスまたは OSE の所在を探知することは含まれません。

**マイクロソフト以外の製品**とは、マイクロソフト以外の法人からお客様に使用許諾、販売またはその他の方法で提供されるソフトウェア、データ、サービス、Web サイトまたはその他の製品を意味し、マイクロソフトのオンライン サービスを通じて取得したものかその他によって取得したものを問いません。

**オペレーティング システム環境 (OSE)** とは、独立したコンピューターの ID (主要コンピューター名もしくは類似の一意の識別子) または独立した管理権を可能にする、オペレーティング システム インスタンスの全部あるいは一部、または仮想 (もしくはエミュレートされた) オペレーティング システムの全体あるいは一部、ならびに上に規定したオペレーティング システム インスタンスまたはその一部の上で作動するよう構成されたアプリケーションがある場合は、そのインスタンスをいいます。OSE には、物理的なものと仮想的なものの 2 種類があります。物理ハードウェア システムには、1 つの物理 OSE と 1 つ以上の仮想 OSE を含めることができます。

**物理コア**とは、物理プロセッサのコアをいいます。

**物理 OSE** とは、物理ハードウェア システム上で直接作動するように構成されている OSE をいいます。ハードウェア仮想化ソフトウェア (Microsoft Hyper-V Server または類似のテクノロジなど) を実行するため、またはハードウェア仮想化サービス (Microsoft 仮想化テクノロジまたは類似のテクノロジなど) を提供するために使用されるオペレーティング システム インスタンスは、物理 OSE の一部です。

**物理プロセッサ**とは、物理ハードウェア システム上のプロセッサをいいます。

**運用環境**とは、運用ワークロードを実行しもしくは運用データにアクセスする物理もしくは仮想 OSE、または運用ワークロードを実行しもしくは運用データにアクセスする 1 つ以上の仮想 OSE をホストする物理 OSE を意味します。

**対象となる第三者のデバイス**とは、第三者の公衆キオスクなど、お客様またはお客様の関連会社によって直接または間接的に管理されないデバイスをいいます。

**実行中のインスタンス**とは、メモリにロードされ、その 1 つまたは複数の指示が実行されているソフトウェアのインスタンスをいいます (お客様は、ソフトウェアをメモリにロードし、その 1 つまたは複数の指示を実行することにより、ソフトウェアの「インスタンスを実行」したものと見なされます)。一度あるインスタンスを実行すると、そのインスタンスは、(その指示の実行が継続されているか否かにかかわらず) それがメモリから削除される時点まで実行されているものと見なされます。

**SL** とは、サブスクリプション ライセンスを意味します。

**サーバー**とは、サーバー ソフトウェアを実行することができる物理ハードウェア システムをいいます。

**サーバー ファーム**とは、単一のデータ センターまたはそれぞれ以下の条件の一方または両方を満たす物理的な場所にある 2 つのデータ センターをいいます。

- 両者のタイム ゾーンの時差が 4 時間以内 (DST ではなく協定世界時 (UTC)) である。
- 欧州連合 (EU) または欧州自由貿易連合 (EFTA) の域内にある。

**VDI ライセンス取得済みデバイス**とは、お客様が VDI Suite ライセンスを割り当てるデバイスをいい、お客様はこのデバイスを使用して、仮想クライアント OSE にアクセスしたりリモートで使用したりします。

**VDI ホスト**とは、仮想クライアント OSE 実行ソフトウェアをホストするデバイスです。お客様は VDI ライセンス取得済みデバイスから仮想クライアント OSE にアクセスしたり、リモートで使用したりします。

**VDI ソフトウェア**とは、VDI Suite ライセンスに基づいて、お客様が使用、アクセス、または管理する権利を許可されるマイクロソフトのソフトウェアです。

**仮想コア**とは、仮想ハードウェア システムの処理能力の単位をいいます。仮想コアは、1 つまたは複数のハードウェア スレッドを仮想的に表したものです。

**仮想 OSE** とは、仮想ハードウェア システム上で作動するように構成されている OSE をいいます。

**仮想プロセッサ**とは、仮想ハードウェア システム上のプロセッサをいいます。「サーバー – プロセッサごと」ライセンス モデルに基づくライセンス取得を目的とする場合に限り、仮想プロセッサは、基本となる物理ハードウェア システム上の各物理プロセッサと同数のスレッドとコアを有するものと見なされます。

**Web ワークロード**（「インターネット Web ソリューション」とも呼ばれます）は、公的にアクセス可能であり、Web ページ、Web サイト、Web アプリケーション、Web サービス、または POP3 メール サービスでのみ構成されます。インターネット Web ソリューションで本ソフトウェアによって提供されるコンテンツ、情報、およびアプリケーションへのアクセスは、お客様またはお客様の関連会社の従業員だけに限定されないものとします。

インターネット Web ソリューションに含まれるソフトウェアは、以下のものを実行するために使用されます。

- Web サーバー ソフトウェア (Microsoft インターネット インフォメーション サービスなど) および管理またはセキュリティ エージェント (System Center Operations Manager エージェントなど)
- インターネット Web ソリューションのサポート専用のデータベース エンジン ソフトウェア (Microsoft SQL Server など)
- インターネット名を IP アドレスに解決するドメイン ネーム システム (DNS) (本ソフトウェアのかかるインスタンスの唯一の機能ではない場合に限り)

#### お客様の使用権

お客様は、ボリューム ライセンス契約に従うことを条件として、本製品使用権説明書に従い、本ソフトウェアおよびオンライン サービスを使用することができます。

#### 他のバージョンを使用する権利

許可された複製またはインスタンスに関し、お客様は使用許諾されたバージョンの代わりに、旧バージョン、許可されている別の言語バージョン、または提供されている別のプラットフォーム バージョン (32 ビット版や 64 ビット版など) の複製またはインスタンスを作成、保存、インストール、実行し、またかかる複製またはインスタンスにアクセスすることができます。お客様は、製品固有の使用条件で許可されている方法でのみ、コンポーネントの別のバージョンを使用することができます。かかるダウングレード権に基づいて旧バージョンを使用した場合に、旧バージョンのサポート ライフサイクルが延長されることはありません。

#### 第三者のソフトウェア

本ソフトウェアには、お客様に提示される別途の条件に基づいてライセンスが許諾される第三者の独自のプログラムが含まれている場合があります。また、本ソフトウェアには、第三者ではなくマイクロソフトがマイクロソフトの使用条件に基づいてお客様に使用許諾する、第三者のオープンソース プログラムが含まれている場合もあります。第三者のオープンソース プログラムに関する注意事項が含まれている場合、情報提供のみを目的としています。

#### プレリリース コード

プレリリース コードには、それに付属する固有の条件が適用されます。

#### 更新プログラムおよび追加物

マイクロソフトは、お客様がライセンスを取得するソフトウェアにつき、更新または追加を行う場合があります。その場合、お客様は、更新プログラムまたは追加物に付属する追加条件に従うことを条件に、その更新プログラムまたは追加物をソフトウェアと共に使用することができます。

#### 商業的ホスティングの禁止

お客様は、商業的ホスティング サービスを提供することを目的として本製品を使用することはできません。

#### 技術的な制限

お客様は、特定の使用方法を求める製品の技術的制限に従う必要があります。この制限を回避することは禁止されています。

#### その他の権利

任意のデバイス上のソフトウェアにアクセスする権利は、そのデバイスにアクセスするソフトウェアまたはデバイスに関するマイクロソフトの特許またはその他の知的財産権を行使する権利をお客様に付与するものではありません。

## ドキュメンテーション

お客様のコンピューターまたは内部ネットワークへの有効なアクセス権を有する者は、お客様の内部使用目的に限り、ドキュメンテーションを複製して使用することができます。ドキュメンテーションには、電子ブックは含まれません。

## ソフトウェア管理のアウトソーシング

お客様は、第三者が日常的に管理および制御するサーバーおよびその他のデバイスが完全にお客様の専用使用である場合に限り、かかるサーバーおよびその他のデバイスに本ソフトウェアの許可された部数をインストールして使用することができます。お客様は、ソフトウェアが使用されるハードウェアの物理的な場所に関係なく、お客様のボリューム ライセンス契約に基づくすべての義務に責任を負います。

## ライセンスの再割り当て

すべてではありませんが、ほとんどのライセンスは、あるデバイスまたはユーザーから別のデバイスまたはユーザーへ再割り当てすることができます。ライセンスの再割り当てに適用される一般的な規則と、一定の製品およびライセンス タイプに適用される特別な規則について以下で説明します。

### ライセンスの再割り当てに関する制限

以下に許可する場合を除き、お客様はライセンスを短期間で（最後の割り当てから 90 日以内に）再割り当てすることができず、また、Rental Rights のライセンスを再割り当てしたり、ソフトウェア アシユアランスをそのソフトウェア アシユアランスが付属するライセンスと分離して再割り当てすることもできません。

### ライセンスの再割り当ての条件

あるデバイスまたはユーザーから別のデバイスまたはユーザーへライセンスを再割り当てする場合、元のデバイスもしくは元のユーザーのデバイスからソフトウェアを削除するか、元のデバイスもしくは元のユーザーのデバイスからのアクセスをブロックする必要があります。

### 一定の製品およびライセンス タイプに関する特別な考慮事項

- **CAL、管理ライセンスおよびユーザー/デバイス サブスクリプション ライセンス (SL):** お客様は、ユーザーの不在またはサービス停止中のデバイスに対処するために、CAL、管理ライセンスまたはユーザー SL もしくはデバイス SL を短期間で再割り当てすることができます。これ以外の目的または期間におけるかかるライセンスの再割り当ては、恒久的なものではありません。この権利は、Enterprise Mobility Suite Add-on User SL、Enterprise Mobility Suite User SL、Windows デスクトップ オペレーティング システム User SL、または Window Virtual Desktop Access (VDA) ライセンスもしくは User SL には適用されません。
- **ハードウェアの故障による早期再割り当て:** 恒久的なハードウェアの故障により、ライセンスを取得したデバイスまたはサーバーの使用を中止する場合には、最後の割り当てから 90 日以内に再割り当てすることができます。この権利は、すべてのサーバー ライセンス (CAL および管理ライセンスを除く)、Enterprise Mobility Suite および Enterprise Mobility Suite Add-on User SL、Windows Virtual Desktop Access サブスクリプション ライセンス、VDI Suite、および Visual Studio Load Test Virtual User Pack 2010 に適用されます。
- **ソフトウェア アシユアランスに関する権利の再割り当て:** ソフトウェア アシユアランスに関して許諾されたまたは取得したライセンス (Windows Thin PC、MDOP、ソフトウェア アシユアランス用ユーザー SL など) は、通常、対象となるライセンスおよびソフトウェア アシユアランスが再割り当てされるときに再割り当てされる必要があります。
- **Windows デスクトップ オペレーティング システムのサブスクリプション ライセンス:** お客様は、短期間で再割り当てを禁止する一般的な制限と、製品表に規定する割り当て規則に従うことを条件として、Windows (VDA) サブスクリプション ライセンス、および Windows デスクトップ オペレーティング システム User SL 用ソフトウェア アシユアランスを再割り当てすることができます。
- **Windows per Device (デバイスごと) および Windows Industry オペレーティング システムのソフトウェア アシユアランスの再割り当て:** お客様は、交換用デバイスが製品表で必要とされている対象オペレーティング システムのライセンスを取得している場合に限り、ソフトウェア アシユアランスおよび基となる Windows Enterprise Upgrade ライセンスまたは Windows Industry Enterprise Upgrade ライセンスを交換用のデバイスに再割り当てすることができますが、短期間で再割り当てすることはできず、また、元のデバイスから関連するデスクトップ オペレーティング システム アップグレードを削除する必要があります。Windows Enterprise Upgrade ライセンスまたは Windows Industry Enterprise Upgrade ライセンスの再割り当ては、アップグレード ライセンスが有効なソフトウェア アシユアランスの対象となっている場合に限り行うことができます。
- **サーバー ファーム内でのライセンス モビリティおよびサーバー パーティションの再作成:** お客様は、一定のサーバー ライセンスを、サーバー ファーム内でのライセンス モビリティの権利およびサーバー パーティションの再作成によって、短期間で再割り当てすることができます。

## 製品のアクティベーション

一部の製品およびオンライン サービスは技術的な手段によって保護されており、それらのインストールおよびアクセスにはアクティベーションおよびボリューム ライセンス プロダクト キーが必要となります。アクティベーションとは、ソフトウェアの使用を特定のデバイスに関連付けることです。アクティベーションまたはプロダクト キーが必要となる場合の詳細については、<http://www.microsoft.com/licensing/activation> の製品のアクティベーションに関するセクションをご参照ください。割り当てられたプロダクト キーの使用、およびお客様のキー マネージメント サービス (KMS) コンピューターを使用した製品のアクティベーションに関する責任は、お客様が負うものとします。ボリューム ライセンス プロダクト キーは機密情報であり、お客様がマイクロソフトと締結したボリューム ライセンス契約の秘密保持条項が適用されます。お客様とマ

マイクロソフトとのボリューム ライセンス契約の解除または期間満了後であっても、かつ、これと異なる期間の制限があったとしても、お客様は  
いかなる場合も第三者にプロダクト キーを開示することはできません。

#### KMS およびマルチプル アクティベーション キー (MAK) アクティベーション

マルチプル アクティベーション キー (MAK) アクティベーション中、本ソフトウェアからマイクロソフトに本ソフトウェアとデバイスに関する情  
報が送信されます。キー マネージメント サービス (KMS) ホスト アクティベーション中、本ソフトウェアからマイクロソフトに KMS ホスト ソ  
フトウェアとホスト デバイスに関する情報が送信されます。KMS を使用してアクティベーションを行った KMS クライアント デバイスからマ  
イクロソフトに情報は送信されません。ただし、KMS ホストを使用して定期的に再アクティベーションを行う必要があります。MAK または  
KMS ホスト アクティベーション中にマイクロソフトに送信される情報には、次の情報が含まれます。

- 本ソフトウェアのバージョン、言語、およびプロダクト キー
- デバイスのインターネット プロトコル アドレス
- デバイスのハードウェア設定から生じた情報

詳細については、<http://www.microsoft.com/licensing/existing-customers/product-activation.aspx> をご参照ください。本ソフトウェアを使  
用することにより、お客様はマイクロソフトがこの情報を収集することに同意されたものとします。お客様には、アクティベーションの前に、イン  
ストール プロセスでインストールされた本ソフトウェアのバージョンを使用する権利があります。インストール プロセスで指定された時間が経  
過した後、本ソフトウェアを使用するお客様の権利は、アクティベーションが完了するまで制限されます。これは、不正使用を防止するため  
の措置です。その時間が過ぎると、アクティベーションを行うまで、お客様は本ソフトウェアを使用できなくなります。デバイスがインターネットに  
接続されている場合、本ソフトウェアは、アクティベーションのためにマイクロソフトに自動的に接続される場合があります。本ソフトウェアのアク  
ティベーションは、インターネットまたは電話により、手動で行うこともできます。その場合、インターネットおよび電話の通話料金が発生する  
ことがあります。お客様がコンピューターのハードウェア構成を変更した場合や、本ソフトウェアの設定を変更した場合には、本ソフトウェアの  
アクティベーションを再度行う必要が生じることがあります。本ソフトウェアは、アクティベーションが実行されるまで、アクティベーションが必要  
なことをお知らせします。

#### KMS の適切な使用

お客様は、KMS コンピューターに、インターネットなどの管理されていないネットワークを経由してセキュリティで保護されていない状態でアク  
セスすることはできません。

#### MAK または KMS キーの不正使用

マイクロソフトは、MAK または KMS キーの不正使用または開示に関連して次の処置を取る場合があります。今後のアクティベーションの  
阻止、非アクティブ化、その他の方法によるプロダクト キーのアクティベーションまたは検証の阻止

キーの非アクティベーションにより、お客様がマイクロソフトから新たなプロダクト キーを取得することが必要になる場合があります。

#### 追加の機能/オプションのサービス

マイクロソフトは、製品について追加の機能またはオプションのアドオン サービスを提供することがあります。その際、別途の使用条件また  
は使用権、および料金が適用されることがあります。

#### 複数の製品または機能の同時使用

デバイス上で使用する、あるいはユーザーによって使用される各製品および別個に使用が許諾される各機能についてライセンスが必要とな  
ります。たとえば、Windows で Office を使用するには、Office と Windows の両方のライセンスが必要です。同様に、Windows Server  
の Remote Desktop Services にアクセスするには、Windows Server CAL と Remote Desktop Services CAL の両方が必要です。

#### フォント コンポーネント

本ソフトウェアを実行している間またはマイクロソフトが提供するオンライン サービスを使用している間、お客様は、それぞれ本ソフトウェアに  
含まれまたはオンライン サービスによってインストールされたフォントを使用して、コンテンツを表示したり印刷したりすることができます。コン  
テンツへのフォントの埋め込みは、フォントの埋め込みに関する制限で許可されている範囲でのみ行うことができます。また、コンテンツを印  
刷するために、フォントを一時的にプリンターまたはその他の出力デバイスにダウンロードすることができます。

#### Windows ソフトウェア コンポーネント

本ソフトウェアには、Microsoft .NET Framework、Microsoft Data Access Components、PowerShell ソフトウェア、ならびに Microsoft  
Build、Windows Identity Foundation、JavaScript 用 Windows ライブラリ、Debughelp.dll および Web Deploy の各テクノロジーに関連する  
特定の .dll のうち、1 つ以上の Windows ソフトウェア コンポーネントが含まれています。これらはすべて Windows ソフトウェアの一部で  
す。以下の「ベンチマーク テスト」に記載されている場合を除き、お客様がこれらのコンポーネントを使用する際には Microsoft Windows の  
使用条件が適用されます。

## ベンチマーク テスト

### ソフトウェア

お客様は、マイクロソフトの事前の書面による許可がない場合、サーバー ソフトウェアまたは付属の追加のソフトウェアのベンチマーク テストの結果を第三者に対して開示することはできません。これは、「Microsoft サーバー」または「Microsoft 開発ツール」のライセンス モデルの製品に適用されます (目次をご参照ください)。この制限は Microsoft .NET Framework (以下を参照) または Windows Server には適用されません。ただし、この条件は、これらの製品で使用許諾された SQL Technology には適用されます。

### MICROSOFT .NET FRAMEWORK

本ソフトウェアには、.NET Framework のコンポーネント (以下「.NET コンポーネント」) が含まれている場合があります。その場合、それらのコンポーネントの内部ベンチマーク テストを実行することができます。お客様は、<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=66406> で規定された条件に従う限り、コンポーネントのベンチマーク テスト結果を開示することができます。お客様がマイクロソフトとの間に他の契約を締結している場合であっても、お客様がかかるベンチマーク テストの結果を開示した場合、マイクロソフトは該当する .NET コンポーネントと競合するお客様の製品について、マイクロソフトが実施したベンチマーク テストの結果を、同じく

<http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=66406> に規定された条件に従って開示することができるものとします。

## 再頒布可能コード

ソフトウェアまたはオンライン サービスには、お客様が開発するプログラムに含めて配布することができる再頒布可能コードが含まれていることがあります。ただし、お客様は以下の条件に従う必要があります。

### 使用および再頒布の権利

以下に記載するコードおよびテキスト ファイルを「再頒布可能コード」と定義します。本製品使用権説明書は、他の再頒布可能コードに対する権利を提供することがあります。

- **REDIST.TXT ファイル:** お客様は、REDIST.TXT ファイルに記載された再頒布可能コードをオブジェクト コード形式で複製および頒布することができます。
- **サンプル コード:** お客様は、「sample」の表示のあるコードのソース コードおよびオブジェクト コードを改変、複製、および頒布することができます。
- **OTHER-DIST.TXT ファイル:** お客様は、OTHER-DIST.TXT ファイルに記載されたコードをオブジェクト コード形式で複製および頒布することができます。
- **第三者による再頒布:** お客様は、お客様のプログラムの頒布者に対して、そのプログラムの一部として再頒布可能コードの複製および頒布を許可することができます。
- **Silverlight ライブラリ:** 「Silverlight Libraries」、「Silverlight Client Libraries」、および「Silverlight Server Libraries」の表示のあるコードをオブジェクト コード形式で複製および頒布することができます。

**本製品使用権説明書の「開発ツール」の章に属する製品に関する追加の使用条件:** 本ソフトウェアには、以下の再頒布可能コードが含まれることがあります。お客様には以下のことが許諾されます。

- **REDIST.TXT ファイル:** <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkId=286955> にある REDIST リストに記載されたファイルを複製および頒布すること。
- **サンプル コード:** 「Code Snippet」の表示のあるコードのソース コードおよびオブジェクト コードを改変、複製、および頒布すること。
- **イメージ ライブラリ:** ソフトウェア付属の文書の記載に従い、イメージ ライブラリ内のイメージおよびアニメーションを複製および頒布すること。お客様は、コンテンツを改変することもできます。お客様がコンテンツを改変した場合、お客様は、改変前のコンテンツにつき認められている用途に従ってこれを使用する必要があります。
- **Visual Studio 用のテンプレート、サイト テンプレートおよびブレンド サイト テンプレート:** これらのテンプレートおよびサイト テンプレートのソース コードおよびオブジェクト コードを改変、複製、導入、および頒布すること。
- **Visual Studio 用のフォントおよびブレンド フォント:** Buxton Sketch フォント、SketchFlow Print フォント、および SegoeMarker フォントの改変されていない複製を頒布すること。
- **Visual Studio 用のスタイルおよびブレンド スタイル:** 「X Styles」の表示のあるコードをオブジェクト コード形式で複製、改変、および頒布すること。
- **アイコン:** 「icons」の表示のあるコードの改変されていない複製を頒布すること。
- **ASP.NET MVC および Web Tooling 拡張機能:** ASP.NET プログラムの一部として ASP.NET モデル ビュー コントローラー、ASP.NET Web ページ、または Web Tooling 拡張機能に含まれる .js ファイルを改変、複製および頒布、または導入すること。
- **Visual Studio LightSwitch プロジェクト テンプレート:** LightSwitch プログラムの一部として Visual Studio LightSwitch プロジェクト テンプレートに含まれる .js ファイルを改変、複製および頒布、または導入すること。
- **JavaScript 用 Windows ライブラリ:** JavaScript 用 Windows ライブラリを複製し、改変することなく、お客様が内部使用目的で開発するプログラムまたはお客様が開発し第三者に頒布するプログラムで使用すること。JavaScript 用 Windows ライブラリと組み合わせて使用するプログラムには、以下も適用されます。JavaScript 用 Windows ライブラリ ファイルは、お客様のプログラムに Windows のデ

ザイン テンプレートと UI の外観を実装するために役立ちます。お客様は、Windows Store を介してのみ、JavaScript 用 Windows ライブラリを含むプログラムを頒布することができます。他の手段を使用することはできません。

- **セットアップ プログラム:** セットアップ プログラムに含まれる頒布可能コードを、セットアップ プログラムの一部としてのみ頒布すること。お客様は、頒布可能コードを改変することはできません。
- **EXTENSIBILITY KIT - Microsoft Commerce Server 2009 Standard および Enterprise Edition 用のファイル:** 「Extensibility Kit」の表示のあるコードのソース コードおよびオブジェクト コードを複製および頒布すること。
- **Access ランタイム ファイル:** Microsoft Office Professional Plus 2013 または Microsoft Office Access 2010 のライセンスを取得した複製から SETUP.EXE、ACCESSRT.MSI、および ACCESSRT.CAB ファイルをオブジェクト コード形式で複製および頒布すること。お客様とお客様のエンド ユーザーは、このファイルを、お客様の非データベース管理プログラムにデータベース機能を提供する目的にのみ使用できます。

#### 再頒布の条件

お客様は、お客様が頒布するあらゆる再頒布可能コードについて以下の条件に従わなければなりません。

- お客様のプログラムにおいて再頒布可能コードに重要かつ主要な機能を追加すること。
- ファイル名の拡張子が .lib である再頒布可能コードについては、かかる頒布可能コードを実行した結果を、お客様のプログラムとのリンカーを通してのみ頒布すること。
- セットアップ プログラムに含まれる頒布可能コードを、改変することなくセットアップ プログラムの一部としてのみ頒布すること。
- 頒布者および外部のエンド ユーザーに対し、本製品使用権説明書および製品表を含むお客様のポリシー ライセンス契約と同等以上に再頒布可能コードを保護する条項に同意するよう要求すること。
- お客様のプログラムに、お客様自身の有効な著作権表示を付すること。
- お客様のプログラムの頒布または使用に関する請求（弁護士費用を含みます）について、マイクロソフトを免責、防御および補償すること。

#### 再頒布の制限

お客様は、以下を行うことはできません。

- 再頒布可能コードにおける著作権、商標または特許の表示を改変すること。
- マイクロソフトの商標をお客様のプログラムの名称の一部に使用したり、お客様の製品がマイクロソフトから由来しているまたはマイクロソフトが推奨していることを示唆するような方法で使用する。
- 再頒布可能コードを、Microsoft オペレーティング システム、ランタイム テクノロジーまたはアプリケーション プラットフォーム以外のプラットフォームで実行するために頒布すること。ただし、(JavaScript 用 Windows ライブラリ ファイルではなく) Web サイトおよび Web アプリケーションで使用するために含まれる JavaScript、CSS および HTML ファイルは、任意のプラットフォームで実行するために頒布することができます。
- 悪意のある、欺瞞的、あるいは違法なプログラムに再頒布可能コードを含めること。
- 再頒布可能コードの一部に除外ライセンスが適用されることになるような方法で再頒布可能コードのソース コードを改変または再頒布すること。「除外ライセンス」とは、使用、改変、または頒布の条件として、コードをソース コード形式で公表または頒布すること、または他の者がコードを改変することができることを要求するライセンスをいいます。

#### ソフトウェア プラス サービス

マイクロソフトは、インターネット経由でマイクロソフトまたはサービス プロバイダーのコンピューター システムに接続するソフトウェア機能を通じて製品のサービスを提供することがあります。マイクロソフトは随時このサービスを変更または中止できるものとします。お客様は、これらのサービスに害を及ぼす可能性のある方法、または第三者によるそのサービスの使用を妨げる方法で、これらのサービスを使用することはできません。また、サービス、データ、アカウント、またはネットワークへの不当なアクセスを試みるためにこれらのサービスを使用することは一切禁止されています。

#### インスタンスの作成と格納

お客様は、お客様のサーバー ライセンスまたは Windows Enterprise ライセンスの条件に基づいて本ソフトウェアのインスタンスを実行する権利を行使する目的に限り、任意の数の本ソフトウェアのインスタンスを作成し、お客様のサーバーまたはストレージ メディアに格納することができます。

#### ソフトウェアの分離の禁止

明示的に許可されている場合を除き、お客様は、1 つのライセンスに基づいてソフトウェアを分離して複数の OSE で実行することはできません。この制限は、それらの OSE が同一の物理ハードウェア システム上に存在する場合でも適用されます。

## デスクトップ アプリケーション (デバイスごと)

Access 2013	13	Outlook for Mac 2011	15
Excel 2013	13	PowerPoint 2013	16
Excel for Mac 2011	13	PowerPoint for Mac 2011	16
InfoPath 2013	13	Project Professional 2013	16
Lync for Mac 2011	13	Project Standard 2013	16
Office for Mac Standard 2011	13	Publisher 2013	16
Office Multi Language Pack 2013	14	Skype for Business 2015	16
Office Professional Plus 2013	14	Visio 2013 Professional	16
Office Standard 2013	15	Visio 2013 Standard	17
OneNote 2013	15	Word 2013	17
Outlook 2013	15	Word for Mac 2011	17

[目次 / 共通の使用条件](#)

### 標準の使用条件

本ライセンス モデルで使用される定義語 (「共通の使用条件」を参照)

ライセンスを取得したデバイス、ライセンスを取得したサーバー

お客様は、取得する各ライセンスにつき以下の権利を有します。

1. お客様は、各ライセンスを単一のデバイスに割り当てる必要があります。
2. お客様は、ライセンスを取得したデバイスおよびネットワーク サーバーに本ソフトウェアをインストールすることができます。
3. お客様がエンタープライズ製品として、または全社契約として本ソフトウェアのライセンスを取得していない限り、お客様は本ソフトウェアを 1 つの携帯用デバイスにもインストールすることができます。
4. お客様は、本ソフトウェアの任意の数の複製を使用することができます。
5. 各ライセンスにより、一度に 1 人のユーザーのみが本ソフトウェアにアクセスして使用することができます。
6. ライセンスを取得したデバイスで実行されている本ソフトウェアのローカル使用は、すべてのユーザーに対して許可されます。
7. 携帯用デバイスで実行されている本ソフトウェアのローカル使用は、ライセンスを取得したデバイスの主要ユーザーに対して許可されます。
8. ライセンスを取得したデバイスで実行されている本ソフトウェアのリモート使用は、任意のデバイスからそのデバイスを使用する主要ユーザー、または別のライセンスを取得したデバイスからそのデバイスを使用するその他のユーザーに対して許可されます。
9. ネットワーク サーバーで実行されている本ソフトウェアのリモート使用は、ライセンスを取得したデバイスの任意のユーザーに対して許可されます。

#### メディア要素およびテンプレート

マイクロソフトはお客様に、本ソフトウェアおよび Office Web アプリケーションに含まれているメディア要素 (イメージ、クリップアート、アニメーション、音声、音楽、ビデオ クリップ、テンプレートおよび他の形式のコンテンツ) をプロジェクトおよび文書で複製して使用することができますが、以下の行為は禁じられています。(i) 製品の主たる価値がメディア要素にある場合に、メディア要素の複製を単体でまたは製品として販売、使用許諾、または頒布すること。(ii) メディア要素をさらに使用許諾または頒布する権利をお客様の顧客に付与すること。(iii) 特定可能な個人、政府機関、ロゴ、商標、紋章の表記を含むメディア要素を商用目的で使用許諾または頒布すること、あるいは、このような画像を自社の製品、組織、活動の推奨または関連を示唆する方法で使用すること、または (iv) メディア要素を使用してわいせつまたは中傷的な作品を作成すること。Office の機能を通じて Office.com または他の Web サイトでアクセスできる他のメディア要素には、かかる Web サイト上の条件が適用されます。

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## 製品固有の使用条件

---

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

### Access 2013

---

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: **データ転送**

---

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

### Excel 2013

---

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: **データ転送、Bing Maps**

---

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

### Excel for Mac 2011

---

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: **データ転送**

---

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

### InfoPath 2013

---

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: **データ転送**

---

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

### Lync for Mac 2011

---

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: **データ転送**

---

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

### Office for Mac Standard 2011

---

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: **データ転送**

---

#### 追加の条件

### OFFICE WEB APPS SERVER 2013 の使用条件

Office Web Apps Server 2013 が本ソフトウェアに含まれている場合、Office Web Apps Server 2013 ソフトウェアに付属する条件が、お客様による当該ソフトウェアの使用に適用されます。お客様が本ソフトウェアを使用するためには、お客様はかかる使用条件に同意する必要があります。

### OFFICE HOME & STUDENT 2013 RT の商業的利用

1. お客様の Office for Mac Standard 2011 ライセンス\*\* は、本ソフトウェアの商業的利用の禁止を放棄することによって、別途取得された Office Home & Student 2013 RT ライセンスに基づくソフトウェアの使用権を変更します。
2. お客様は、本製品使用権説明書に規定されているとおり、Office for Mac Standard 2011 のライセンスを取得したデバイスの主要ユーザーに対し、別途取得した Office Home & Student 2013 RT ライセンスに基づいて本ソフトウェアを使用することを許可することができます。
3. 本ソフトウェアの商業的利用の容認を除き、すべての使用には引き続き、Office Home & Student 2013 RT ライセンスと共に提供される条件および使用権が適用されます。
4. Office for Mac Standard 2011 ライセンスの取得によって、Office Home & Student 2013 RT ライセンスに基づく何らかの保証またはサポート義務が新たに生じるか、またはその範囲が広がることはありません。

\*\*製品表を参照してください。Office for Mac Standard 2011 のライセンスには、Office Home & Student RT 2013 の商業的利用のためのライセンスが含まれています。

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Office Multi Language Pack 2013

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Office Professional Plus 2013

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: **データ転送、Bing Maps**

### 追加の条件

#### OFFICE WEB APPS SERVER 2013 の使用条件

Office Web Apps Server 2013 が本ソフトウェアに含まれている場合、Office Web Apps Server 2013 ソフトウェアに付属する条件が、お客様による当該ソフトウェアの使用に適用されます。お客様が本ソフトウェアを使用するためには、お客様はかかる使用条件に同意する必要があります。

#### OFFICE HOME & STUDENT 2013 RT の商業的利用

1. お客様の Office Professional Plus 2013 ライセンス\*\* は、本ソフトウェアの商業的利用の禁止を放棄することによって、別途取得された Office Home & Student 2013 RT ライセンスに基づくソフトウェアの使用権を変更します。
2. お客様は、本製品使用権説明書に規定されているとおり、Office Professional Plus 2013 のライセンスを取得したデバイスの主要ユーザーに対し、別途取得した Office Home & Student 2013 RT ライセンスに基づいて本ソフトウェアを使用することを許可することができます。
3. 本ソフトウェアの商業的利用の容認を除き、すべての使用には引き続き、Office Home & Student 2013 RT ライセンスと共に提供される条件および使用権が適用されます。
4. Office Professional Plus 2013 ライセンスの取得によって、Office Home & Student 2013 RT ライセンスに基づく何らかの保証またはサポート義務が新たに生じるか、またはその範囲が広がることはありません。

\*\*製品表を参照してください。Office Professional Plus 2013 のライセンスには、Office Home & Student RT 2013 の商業的利用のためのライセンスが含まれています。

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Office Standard 2013

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: [データ転送](#)

### 追加の条件

#### OFFICE WEB APPS SERVER 2013 の使用条件

Office Web Apps Server 2013 が本ソフトウェアに含まれている場合、Office Web Apps Server 2013 ソフトウェアに付属する条件が、お客様による当該ソフトウェアの使用に適用されます。お客様が本ソフトウェアを使用するためには、お客様はかかる使用条件に同意する必要があります。

#### OFFICE HOME & STUDENT 2013 RT の商業的利用

- お客様の Office Standard 2013 ライセンス\*\* は、本ソフトウェアの商業的利用の禁止を放棄することによって、別途取得された Office Home & Student 2013 RT ライセンスに基づくソフトウェアの使用権を変更します。
- お客様は、本製品使用権説明書に規定されているとおり、Office Standard 2013 のライセンスを取得したデバイスの主要ユーザーに対し、別途取得した Office Home & Student 2013 RT ライセンスに基づいて本ソフトウェアを使用することを許可することができます。
- 本ソフトウェアの商業的利用の容認を除き、すべての使用には引き続き、Office Home & Student 2013 RT ライセンスと共に提供される条件および使用権が適用されます。
- Office Standard 2013 ライセンスの取得によって、Office Home & Student 2013 RT ライセンスに基づく何らかの保証またはサポート義務が新たに生じるか、またはその範囲が広がることはありません。

\*\*製品表を参照してください。Office Standard 2013 のライセンスには、Office Home & Student RT 2013 の商業的利用のためのライセンスが含まれています。

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## OneNote 2013

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: [データ転送](#)

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Outlook 2013

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: [データ転送](#)

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Outlook for Mac 2011

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: [データ転送](#)

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## PowerPoint 2013

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: **データ転送**

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## PowerPoint for Mac 2011

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: **データ転送**

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Project Professional 2013

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: **データ転送**

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Project Standard 2013

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: **データ転送**

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Publisher 2013

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Skype for Business 2015

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

該当する注意/特記事項: **データ転送、H.264/MPEG-4 および VC-1**

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Visio 2013 Professional

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

---

該当する注意/特記事項: **データ転送**

---

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Visio 2013 Standard

---

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

---

該当する注意/特記事項: **データ転送**

---

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Word 2013

---

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

---

該当する注意/特記事項: **データ転送**

---

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Word for Mac 2011

---

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

---

該当する注意/特記事項: **データ転送**

---

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

# サーバー - サーバー/CAL (サーバー ライセンス + CAL + オプションのエクスターナル コネクタ)

Exchange Server 2013 Enterprise	19	SharePoint Server 2013	22
Exchange Server 2013 Standard	20	Skype for Business Server 2015	24
Microsoft Office Audit and Control Management Server 2013	21	Windows MultiPoint Server 2012 Premium	25
Project Server 2013	22	Windows MultiPoint Server 2012 Standard	27

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## 標準の使用条件

本ライセンス モデルで使用される定義語 (「共通の使用条件」を参照)

CAL、エクスターナル コネクタ ライセンス、外部ユーザー、インスタンス、ライセンスを取得したサーバー、OSE、物理 OSE、実行中のインスタンス、サーバー、サーバー ファーム、および仮想 OSE

### サーバー ライセンス

お客様は、取得する各ライセンスにつき以下の権利を有します。

1. お客様は、各ライセンスを単一のサーバーに割り当てる必要があります。
2. 各ライセンスにつき、お客様は、ライセンスを取得したサーバー上の物理 OSE または仮想 OSE のいずれかで、サーバー ソフトウェアの 1 つの実行インスタンスを使用することができます。

### アクセス ライセンス

1. 以下の場合および製品固有の使用条件に規定されている場合を除き、すべてのサーバー ソフトウェアへのアクセスには CAL が必要です。
2. 外部ユーザーによるアクセスに関する要件は、製品固有の使用条件に規定するとおり、製品によって異なります。
3. 製品およびアクセス対象の機能に応じて、CAL、エクスターナル コネクタ ライセンスまたはサーバーに割り当てられたソフトウェア ライセンスに基づき、外部ユーザーによるアクセスが許可されます。
4. お客様は、各 CAL を 1 人のユーザーまたは 1 台のデバイスに割り当て、各エクスターナル コネクタ ライセンスを 1 台のライセンスを取得したサーバーに割り当てる必要があります。
5. CAL およびエクスターナル コネクタ ライセンスによって、本サーバー ソフトウェアの相当するバージョン (ダウングレード権に基づいて使用される旧バージョンを含みます) または旧バージョンにアクセスすることができます。
6. ライセンスを取得した別のサーバーによるアクセスや、ソフトウェアを管理するためにアクセスする最大 2 人のユーザーまたは最大 2 台のデバイスについては、CAL は必要ありません。
7. CAL およびエクスターナル コネクタ ライセンスでは、お客様のライセンスを取得したサーバー (第三者のサーバーは不可) のみへのアクセスが認められます。

## 追加のライセンス条件および追加の使用権

**ライセンス モビリティ - サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバー ライセンスおよびエクスターナル コネクタ ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用**

ライセンス モビリティの対象として指定された製品については、お客様は、サーバー ライセンスおよびエクスターナル コネクタ ライセンスを同一サーバー ファーム内の任意のサーバーに必要に応じて何度でも再割り当てすることができます。製品によっては、これらの権利のためにソフトウェア アシュアランスが必要になることがあります。お客様はサーバー ライセンスおよびエクスターナル コネクタ ライセンスのあるサーバー ファームから別のサーバー ファームに再割り当てすることができますが、短期間で再割り当てすることはできません (すなわち、最後の再割り当てから 90 日以内に再割り当てすることはできません)。

## 製品固有の使用条件

# Exchange Server 2013 Enterprise

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

セルフ ホスト アプリケーションの許可: **あり**

追加ソフトウェア: **あり**

サーバー ファーム内でのライセンス モビリティ: **あり** (「標準の使用条件」を参照)

外部ユーザーによるアクセス: **サーバー ライセンスにて許諾** (追加機能にアクセスするには、ベース CAL と追加 CAL の両方が必要です)

## ベース CAL

### 必要なライセンス

- Exchange Server 2013 Standard CAL **または**
- BackOffice CAL<sup>1</sup> **または**
- Core CAL Suite<sup>1</sup> **または**
- Core CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Core CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> **または**
- Core CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL **または**
- Exchange Online Plan 1 User SL **または**
- Exchange Online Plan 1G User SL **または**
- Exchange Online Plan 2 User SL **または**
- Exchange Online Plan 2A User SL **または**
- Exchange Online Plan 2G User SL **または**
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> **または**

- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL **または**
- Office 365 Enterprise E1、E3 **または** E4 User SL **または**
- Office 365 Enterprise E3-E4 without ProPlus User SL **または**
- Office 365 Nonprofit E3 User SL **または**
- Office 365 Education E3-E4 User SL **または**
- Office 365 Government E1、E3、**または** E4 User SL **または**
- Office 365 Government E3-E4 without ProPlus User SL

<sup>1</sup> 2012 年 10 月 1 日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

<sup>2</sup> ボリューム ライセンスに基づき本ソフトウェアが最初にダウンロード可能になる日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

## 追加 CAL

### 追加の機能

- ユニファイド メッセージング
- インプレース アーカイブ
- インプレース保持 (無期限、クエリベース、時間ベース)
- 詳細なモバイル ポリシー
- 情報保護とコンプライアンス
- カスタム保持ポリシー
- ユーザーごと/配布リストごとのジャーナル
- サイト メールボックス – コンプライアンス
- Data Loss Prevention

### 必要な追加 CAL

- Exchange Server 2013 Enterprise CAL **または**
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL **または**
- Exchange Online Plan 2 User SL **または**
- Exchange Online Plan 2A User SL **または**
- Exchange Online Plan 2G User SL **または**
- Office 365 Enterprise E3-E4 User SL **または**
- Office 365 Enterprise E3-E4 without ProPlus User SL **または**
- Office 365 Nonprofit E3 User SL **または**
- Office 365 Education E3-E4 User SL **または**
- Office 365 Government E3-E4 User SL **または**
- Office 365 Government E3-E4 without ProPlus User SL

<sup>1</sup> 2012 年 10 月 1 日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得

### 済みの場合

<sup>2</sup> ボリューム ライセンスに基づき本ソフトウェアが最初にダウンロード可能になる日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

## 追加の条件

### 非認証アクセス

Active Directory または Skype for Business Server による直接的または間接的な認証を受けずに本サーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスするユーザーまたはデバイスには、CAL は必要ありません。

### ライセンス モビリティ – サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバー ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用

お客様は、ソフトウェア アシユアランスが有効なライセンスに基づいてのみ、「ライセンス モビリティ – サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバーおよびエクスターナル コネクタ ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用」の規定に従いサーバー ライセンスを再割り当てすることができます。

[目次 / 共通の使用条件](#)

## Exchange Server 2013 Standard

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

セルフ ホスト アプリケーションの許可: **あり**

追加ソフトウェア: **あり**

サーバー ファーム内でのライセンス モビリティ: **あり** (「標準の使用条件」を参照)

外部ユーザーによるアクセス: **サーバー ライセンスにて許諾** (追加機能にアクセスするには、ベース CAL と追加 CAL の両方が必要です)

## ベース CAL

### 必要なライセンス

- Exchange Server 2013 Standard CAL **または**
- BackOffice CAL<sup>1</sup> **または**
- Core CAL Suite<sup>1</sup> **または**
- Core CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Core CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> **または**
- Core CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL **または**
- Exchange Online Plan 1 User SL **または**
- Exchange Online Plan 1G User SL **または**
- Exchange Online Plan 2 User SL **または**
- Exchange Online Plan 2A User SL **または**
- Exchange Online Plan 2G User SL **または**
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> **または**

- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL **または**
- Office 365 Enterprise E1、E3 **または** E4 User SL **または**
- Office 365 Enterprise E3-E4 without ProPlus User SL **または**
- Office 365 Nonprofit E3 User SL **または**
- Office 365 Education E3-E4 User SL **または**
- Office 365 Government E1、E3、**または** E4 User SL **または**
- Office 365 Government E3-E4 without ProPlus User SL

<sup>1</sup> 2012 年 10 月 1 日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

<sup>2</sup> ボリューム ライセンスに基づき本ソフトウェアが最初にダウンロード可能になる日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

## 追加 CAL

### 追加の機能

- ユニファイド メッセージング
- インプレース アーカイブ
- インプレース保持 (無期限、クエリベース、時間ベース)
- 詳細なモバイル ポリシー
- 情報保護とコンプライアンス

### 必要な追加 CAL

- Exchange Server 2013 Enterprise CAL **または**
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL

- カスタム保持ポリシー
- ユーザーごと/配布リストごとのジャーナル
- サイト メールボックス – コンプライアンス
- Data Loss Prevention

#### または

- Exchange Online Plan 2 User SL **または**
- Exchange Online Plan 2A User SL **または**
- Exchange Online Plan 2G User SL **または**
- Office 365 Enterprise E3-E4 User SL **または**
- Office 365 Enterprise E3-E4 without ProPlus User SL **または**
- Office 365 Nonprofit E3 User SL **または**
- Office 365 Education E3-E4 User SL **または**
- Office 365 Government E3-E4 User SL **または**
- Office 365 Government E3-E4 without ProPlus User SL

<sup>1</sup> 2012 年 10 月 1 日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

<sup>2</sup> ボリューム ライセンスに基づき本ソフトウェアが最初にダウンロード可能になる日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

## 追加の条件

### 非認証アクセス

Active Directory または Skype for Business Server による直接的または間接的な認証を受けずに本サーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスするユーザーまたはデバイスには、CAL は必要ありません。

### ライセンス モビリティ – サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバー ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用

お客様は、ソフトウェア アシユアランスが有効なライセンスに基づいてのみ、「ライセンス モビリティ – サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバー およびエクスターナル コネクタ ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用」の規定に従いサーバー ライセンスを再割り当てすることができます。

[目次 / 共通の使用条件](#)

## Microsoft Office Audit and Control Management Server 2013

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

セルフ ホスト アプリケーションの許可: なし

追加ソフトウェア:

サーバー ファーム内でのライセンス モビリティ: **あり** (「標準の使用条件」を参照)

外部ユーザーによるアクセス: **サーバー ライセンスにて許諾**

## ベース CAL

個別の Microsoft Office Audit and Control Management Server 2013 CAL はありません。SharePoint Server 2013 Enterprise CAL により、Audit and Control Management Server 2013 にアクセスする権利が付与されます。各 SharePoint Server 2013 Enterprise CAL では SharePoint Server 2013 Standard CAL が必要になります。Microsoft Office Audit and Control Management Server 2013 にアクセスするには次のライセンスが必要です。

- SharePoint Server 2013 Standard CAL and SharePoint Server 2013 Enterprise CAL **または**
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>2</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL **または**
- Office 365 Enterprise E3-E4 User SL **または**
- Office 365 Enterprise E3-E4 without ProPlus User SL **または**

- Office 365 Nonprofit E3 User SL **または**
- SharePoint Online Plan 2 User SL

<sup>1</sup> 2012 年 10 月 1 日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

<sup>2</sup> ボリューム ライセンスに基づき本ソフトウェアが最初にダウンロード可能になる日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

#### 追加の条件

公に提供されているコンテンツにアクセスするユーザーに関する CAL は不要

お客様がインターネットを介して (すなわち、イントラネットまたはエクストラネットに限らず) ユーザーに公に提供するコンテンツ、情報およびアプリケーションへのアクセスには、CAL は必要ありません。

**ライセンス モビリティ -- サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバー ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用**

お客様は、ソフトウェア アシユアランスが有効なライセンスに基づいてのみ、「ライセンス モビリティ - サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバーおよびエクスターナル コネクタ ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用」の規定に従いサーバー ライセンスを再割り当てすることができます。

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Project Server 2013

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

セルフ ホスト アプリケーションの許可: なし	追加ソフトウェア: <b>あり</b>
サーバー ファーム内でのライセンス モビリティ: <b>あり</b> (「標準の使用条件」を参照)	外部ユーザーによるアクセス: <b>CAL</b>

#### ベース CAL

##### 必要なライセンス

- Project Server 2013 CAL **または**
- Project Lite User SL **または**
- Project Online User SL **または**
- Project Pro for Office 365 User SL

#### 追加の条件

**ライセンス モビリティ -- サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバー ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用**

お客様は、ソフトウェア アシユアランスが有効なライセンスに基づいてのみ、「ライセンス モビリティ - サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバーおよびエクスターナル コネクタ ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用」の規定に従いサーバー ライセンスを再割り当てすることができます。

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## SharePoint Server 2013

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

セルフ ホスト アプリケーションの許可: なし	追加ソフトウェア: <b>あり</b>
サーバー ファーム内でのライセンス モビリティ: <b>あり</b> (「標準の使用条件」を参照)	外部ユーザーによるアクセス: <b>サーバー ライセンスにて許諾</b>

## ベース CAL

## 必要なライセンス

- SharePoint Server 2013 Standard CAL または
- Core CAL Suite<sup>1</sup> または
- Core CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> または
- Core CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> または
- Core CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL または
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL または
- Office 365 Enterprise E1、E3 または E4 User SL または
- Office 365 Enterprise E3-E4 without ProPlus User SL または
- Office 365 Nonprofit E3 User SL または
- Office 365 Education E3-E4 User SL または
- Office 365 Government E1、E3、または E4 User SL または
- Office 365 Government E3-E4 without ProPlus User SL または

- SharePoint Online Plan 1 User SL または
- SharePoint Online Plan 1G User SL または
- SharePoint Online Plan 2 User SL または
- SharePoint Online Plan 2A User SL または
- SharePoint Online Plan 2G User SL

<sup>1</sup> 2012 年 10 月 1 日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

<sup>2</sup> ポリユーム ライセンスに基づき本ソフトウェアが最初にダウンロード可能になる日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

## 追加 CAL

## 追加の機能

- Business Connectivity Services Line of Business Webparts
- Office 2013 Business Connectivity Services クライアント統合
- Access Services
- エンタープライズ検索
- 電子情報開示および法令遵守
- InfoPath Forms Services
- Excel Services、PowerPivot、PowerView
- Visio Services
- PerformancePoint Services
- カスタム分析レポート
- 詳細チャート

## 必要な追加 CAL

- SharePoint Server 2013 Enterprise CAL または
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL または
- Office 365 Enterprise E3-E4 User SL または
- Office 365 Enterprise E3-E4 without ProPlus User SL または
- Office 365 Nonprofit E3 User SL または
- Office 365 Education E3-E4 User SL または
- Office 365 Government E3-E4 User SL または
- Office 365 Government E3-E4 without ProPlus User SL または
- SharePoint Online Plan 2 User SL または
- SharePoint Online Plan 2A User SL または
- SharePoint Online Plan 2G User SL

<sup>1</sup> 2012 年 10 月 1 日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

<sup>2</sup> ポリユーム ライセンスに基づき本ソフトウェアが最初にダウンロード可能になる日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

## 追加の条件

**公に提供されているコンテンツにアクセスするユーザーに関する CAL は不要**

お客様がインターネットを介して（すなわち、イントラネットまたはエクストラネットに限らず）ユーザーに公に提供するコンテンツ、情報およびアプリケーションへのアクセスには、CAL は必要ありません。

**ライセンス モビリティ – サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバー ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用**

お客様は、ソフトウェア アシユアランスが有効なライセンスに基づいてのみ、「ライセンス モビリティ – サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバーおよびエクスターナル コネクタ ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用」の規定に従いサーバー ライセンスを再割り当てすることができます。

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## Skype for Business Server 2015

---

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

セルフ ホスト アプリケーションの許可: なし	追加ソフトウェア: <b>あり</b>
サーバー ファーム内でのライセンス モビリティ: <b>あり</b> (「標準の使用条件」を参照)	該当する注意/特記事項: <b>記録に関する注意、VC-1</b>
含まれるテクノロジー: Windows ソフトウェア コンポーネント ( <a href="#">「共通の使用条件」</a> を参照)	外部ユーザーによるアクセス: <b>サーバー ライセンスにて許諾</b>

### ベース CAL

#### 必要なライセンス

- Skype for Business Server 2015 Standard CAL **または**
- Core CAL Suite<sup>1</sup> **または**
- Core CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Core CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> **または**
- Core CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL **または**
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL **または**
- Skype for Business Online Plan 1 **または** 1G User SL **または**
- Skype for Business Online Plan 2、2A **または** 2G User SL **または**

- Office 365 Enterprise E1、E3 **または** E4 User SL **または**
- Office 365 Enterprise E3-E4 without ProPlus User SL **または**
- Office 365 Nonprofit E3 User SL **または**
- Office 365 Education E3-E4 User SL **または**
- Office 365 Government E1、E3、**または** E4 User SL **または**
- Office 365 Government E3-E4 without ProPlus User SL

<sup>1</sup> 2012 年 10 月 1 日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

<sup>2</sup> ポリウム ライセンスに基づき本ソフトウェアが最初にダウンロード可能になる日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

### 追加 CAL

#### 追加の機能

- 音声、ビデオ、および Web 会議
- デスクトップ共有
- ルーム システム
- 複数の HD ビデオ ストリーム

#### 必要な追加 CAL

- Skype for Business Server 2015 Enterprise CAL **または**
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite<sup>2</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Enterprise Mobility Suite User SL **または**

- Skype for Business Online Plan 2、2A または 2G User SL **または**
- Office 365 Enterprise E1、E3 または E4 User SL **または**
- Office 365 Enterprise E3-E4 without ProPlus User SL **または**
- Office 365 Nonprofit E3 User SL **または**
- Office 365 Education E3-E4 User SL **または**
- Office 365 Government E1、E3、または E4 User SL **または**
- Office 365 Government E3-E4 without ProPlus User SL **または**
- Live Meeting Standard User SL **または**
- Live Meeting Professional User SL

<sup>1</sup> 2012 年 10 月 1 日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

<sup>2</sup> ボリューム ライセンスに基づき本ソフトウェアが最初にダウンロード可能になる日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

### 追加の機能

- ボイス テレフォニー
- コール マネージメント

### 必要な追加 CAL

- Skype for Business Server 2015 Plus CAL **または**
- Office 365 Enterprise E4 User SL **または**
- Office 365 Enterprise E4 without ProPlus User SL **または**
- Office 365 Education E4 User SL **または**
- Office 365 Government E4 User SL **または**
- Office 365 Government E4 without ProPlus User SL

## 追加の条件

### 非認証アクセス

Active Directory または Skype for Business Server による直接的または間接的な認証を受けずに本サーバー ソフトウェアのインスタンスにアクセスするユーザーまたはデバイスには、CAL は必要ありません。

### ライセンス モビリティ – サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバー ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用

お客様は、ソフトウェア アシユアランスが有効なライセンスに基づいてのみ、「ライセンス モビリティ – サーバー ファーム内およびサーバー ファーム間でのサーバー およびエクスターナル コネクタ ライセンスの割り当てとソフトウェアの使用」の規定に従いサーバー ライセンスを再割り当てすることができます。

[目次 / 共通の使用条件](#)

## Windows MultiPoint Server 2012 Premium

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

セルフ ホスト アプリケーションの許可: なし

追加ソフトウェア: **あり**

サーバー ファーム内でのライセンス モビリティ: なし

該当する注意/特記事項: **データ転送、MPEG-4、VC-1、不要である可能性のあるソフトウェア (注意 1)**

外部ユーザーによるアクセス: **CAL**

### ベース CAL

#### 必要なライセンス

- Windows MultiPoint Server 2012 CAL **および**

<sup>1</sup> ボリューム ライセンスに基づき Windows Server 2012 が最初にダウンロード可能になる日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

- Windows Server 2012 CAL または <sup>2</sup> フル ユーザー SL のみがアクセス要件を満たします。
- Core CAL Suite<sup>1</sup> または
- Core CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> または
- Core CAL Bridge for Office 365<sup>1</sup> または
- Core CAL Bridge for Office 365 User SL または
- Core CAL Bridge for Office 365 and Microsoft Intune<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Office 365<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Office 365 User SL または
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Office 365 and Microsoft Intune<sup>1</sup> または
- Enterprise Mobility Suite User SL<sup>2</sup>

## 追加 CAL

### 製品または機能

Windows Server 2012 Rights Management Services

### CAL

- Windows Server 2012 Active Directory Rights Management Services CAL または
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Office 365<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Office 365 User SL または
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Office 365 and Microsoft Intune<sup>1</sup> または
- Enterprise Mobility Suite User SL

<sup>1</sup> 2012 年 9 月 1 日以降に有効なソフトウェア アシュアランスを取得済みの場合

## 追加の条件

### ソフトウェアのインスタンスの実行

お客様は、取得し割り当てる各サーバー ライセンスにつき以下の対応する権利を有します。お客様は、ライセンスを取得したサーバー上で以下を同時に実行することができます。

- 物理 OSE における、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンス<sup>1</sup>
- 1 つの仮想 OSE における、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンス

<sup>1</sup> お客様が許可されている最大数のインスタンス (物理および仮想) を実行する場合、物理 OSE で実行されている本サーバー ソフトウェアのインスタンスは、仮想 OSE のホストおよび管理にのみ使用することができます。

### アクセス ライセンス

- Web ワークロードまたは HPC ワークロードを実行している本サーバー ソフトウェアへのアクセスには、CAL は必要ありません。
- 仮想 OSE のホスティングおよび管理のためにのみ使用されている物理 OSE へのアクセスには、CAL は必要ありません。

### 認証

本ソフトウェアの認証機能は随時更新され、そのダウンロードが必要になります。認証とは、本ソフトウェアのアクティベーションが実行され、ライセンスが適切に発行されたことを確認するものです。また、認証により、お客様は本ソフトウェアの特定の機能を使用したり、追加の特典を受けたりすることができます。詳細については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=39157> をご参照ください。

認証チェックの間、本ソフトウェアからマイクロソフトに本ソフトウェアとデバイスに関する情報が送信されます。この情報には、本ソフトウェアのバージョンおよびプロダクト キーと、デバイスのインターネット プロトコル アドレスが含まれています。マイクロソフトがこの情報を本ソフトウェアの不正使用を防止するために使用および開示する場合を除き、マイクロソフトがこの情報を使用してお客様を特定したり、お客様に連絡したりすることはありません。本ソフトウェアを使用することにより、お客様はマイクロソフトがこの情報を収集することに同意されたものとします。認証および認証チェックの際に送信される情報の詳細については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=96551> をご参照ください。

本ソフトウェアに関する正規のライセンスを取得していない場合、本ソフトウェアの機能が影響を受けることがあります。たとえば、次のような影響が生じることがあります。

- 本ソフトウェアの再アクティベーションが必要になる。
- 正規のライセンスに基づいた本ソフトウェアの複製を入手するように促すメッセージが表示されるようになる。

また、マイクロソフトから更新プログラムやアップグレードを入手できなくなる場合があります。

本ソフトウェアの更新プログラムやアップグレードは、マイクロソフトまたは認定ソースからのみ入手することができます。認定ソースからの更新プログラムの入手に関する詳細については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=96552> をご参照ください。

#### WINDOWS MULTIPPOINT SERVER 2012 CONNECTOR

お客様は、Windows Server 2012 へのアクセスについてライセンスを取得した任意のデバイスに Windows Server 2012 MultiPoint Connector ソフトウェアをインストールして使用することができます。お客様はこのソフトウェアを MultiPoint Server ソフトウェアにアクセスするためにのみ使用することができます。MultiPoint ダッシュボードを使用するためのみにこのデバイスからサーバー ソフトウェアにアクセスする場合、MultiPoint Server CAL は必要ありません。

#### データ ストレージ テクノロジ

本サーバー ソフトウェアには、Windows Internal Database または Microsoft SQL Server Desktop Engine for Windows と呼ばれるデータ ストレージ テクノロジが含まれている場合があります。本サーバー ソフトウェアのコンポーネントは、データを格納する目的でこのテクノロジを使用します。お客様はその他の目的で本製品使用権説明書に基づいてこのテクノロジを使用したり、アクセスしたりすることはできません。

[目次 / 共通の使用条件](#)

## Windows MultiPoint Server 2012 Standard

本製品の使用には、共通の使用条件、本ライセンス モデルの標準の使用条件、および以下の使用条件が適用されます。

セルフ ホスト アプリケーションの許可: なし	追加ソフトウェア: あり
サーバー ファーム内でのライセンス モビリティ: なし	該当する注意/特記事項: <b>データ転送、MPEG-4、VC-1、不要である可能性のあるソフトウェア (注意 I)</b>
	外部ユーザーによるアクセス: <b>CAL</b>

### ベース CAL

#### 必要なライセンス

- Windows MultiPoint Server 2012 CAL  
**および**

- Windows Server 2012 CAL **または**
- Core CAL Suite<sup>1</sup> **または**
- Core CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Core CAL Bridge for Office 365<sup>1</sup> **または**
- Core CAL Bridge for Office 365 User SL **または**
- Core CAL Bridge for Office 365 and Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Office 365<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Enterprise CAL Bridge for Office 365 User SL **または**
- Enterprise CAL Bridge for Office 365 and Microsoft Intune<sup>1</sup> **または**
- Enterprise Mobility Suite User SL<sup>2</sup>

<sup>1</sup> ボリューム ライセンスに基づき Windows Server 2012 が最初にダウンロード可能になる日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

<sup>2</sup> フル ユーザー SL のみがアクセス要件を満たします。

## 追加 CAL

## 製品または機能

Windows Server 2012 Rights Management Services

## CAL

- Windows Server 2012 Active Directory Rights Management Services CAL または
- Enterprise CAL Suite<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Office 365<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Office 365 User SL または
- Enterprise CAL Bridge for Microsoft Intune<sup>1</sup> または
- Enterprise CAL Bridge for Office 365 and Microsoft Intune<sup>1</sup> または
- Enterprise Mobility Suite User SL

<sup>1</sup> 2012 年 9 月 1 日以降に有効なソフトウェア アシユアランスを取得済みの場合

## 追加の条件

## ソフトウェアのインスタンスの実行

お客様は、取得し割り当てる各サーバー ライセンスにつき以下の対応する権利を有します。お客様は、ライセンスを取得したサーバー上で以下を同時に実行することができます。

- 物理 OSE における、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンス<sup>1</sup>
- 1 つの仮想 OSE における、本サーバー ソフトウェアの 1 つのインスタンス

<sup>1</sup> お客様が許可されている最大数のインスタンス（物理および仮想）を実行する場合、物理 OSE で実行されている本サーバー ソフトウェアのインスタンスは、仮想 OSE のホストおよび管理にのみ使用することができます。

## アクセス ライセンス

- Web ワークロードまたは HPC ワークロードを実行している本サーバー ソフトウェアへのアクセスには、CAL は必要ありません。
- 仮想 OSE のホスティングおよび管理のためにのみ使用されている物理 OSE へのアクセスには、CAL は必要ありません。

## 認証

本ソフトウェアの認証機能は随時更新され、そのダウンロードが必要になります。認証とは、本ソフトウェアのアクティベーションが実行され、ライセンスが適切に発行されたことを確認するものです。また、認証により、お客様は本ソフトウェアの特定の機能を使用したり、追加の特典を受けたりすることができます。詳細については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=39157> をご参照ください。

認証チェックの間、本ソフトウェアからマイクロソフトに本ソフトウェアとデバイスに関する情報が送信されます。この情報には、本ソフトウェアのバージョンおよびプロダクト キーと、デバイスのインターネット プロトコル アドレスが含まれています。マイクロソフトがこの情報を本ソフトウェアの不正使用を防止するために使用および開示する場合を除き、マイクロソフトがこの情報を使用してお客様を特定したり、お客様に連絡したりすることはありません。本ソフトウェアを使用することにより、お客様はマイクロソフトがこの情報を収集することに同意されたものとします。認証および認証チェックの際に送信される情報の詳細については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=96551> をご参照ください。本ソフトウェアに関する正規のライセンスを取得していない場合、本ソフトウェアの機能が影響を受けることがあります。たとえば、次のような影響が生じることがあります。

- 本ソフトウェアの再アクティベーションが必要になる。
- 正規のライセンスに基づいた本ソフトウェアの複製を入手するように促すメッセージが表示されるようになる。

また、マイクロソフトから更新プログラムやアップグレードを入手できなくなる場合があります。

本ソフトウェアの更新プログラムやアップグレードは、マイクロソフトまたは認定ソースからのみ入手することができます。認定ソースからの更新プログラムの入手に関する詳細については、<http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=96552> をご参照ください。

## WINDOWS MULTIPPOINT SERVER 2012 CONNECTOR

お客様は、Windows Server 2012 へのアクセスについてライセンスを取得した任意のデバイスに Windows Server 2012 MultiPoint Connector ソフトウェアをインストールして使用することができます。お客様はこのソフトウェアを MultiPoint Server ソフトウェアにアクセスするためにのみ使用することができます。MultiPoint ダッシュボードを使用するためのみにこのデバイスからサーバー ソフトウェアにアクセスする場合、MultiPoint Server CAL は必要ありません。

### データ ストレージ テクノロジ

本サーバー ソフトウェアには、Windows Internal Database または Microsoft SQL Server Desktop Engine for Windows と呼ばれるデータ ストレージ テクノロジが含まれている場合があります。本サーバー ソフトウェアのコンポーネントは、データを格納する目的でこのテクノロジを使用します。お客様はその他の目的で本製品使用権説明書に基づいてこのテクノロジを使用したり、アクセスしたりすることはできません。

[目次](#) / [共通の使用条件](#)

## オンライン サービス (ユーザーまたはデバイス サブスクリプション ライセンス、サービス サブスクリプション ライセンス、およびアドオン サブスクリプション ライセンス)

オンライン サービスのすべてのサービス条件については、マイクロソフト オンライン サービス条件 (OST)

(<http://go.microsoft.com/?linkid=9840733>) を参照してください。これらのサービス条件は、本製品使用権説明書の一部として適用されます。

OST には、オンライン サービスに適用されるサービス条件の更新プロセスが規定されています。

本製品または他の製品がオンライン サービスおよびその他の製品で構成される限り、オンライン サービスには OST の条件が適用され、他のすべての製品には本製品使用権説明書が適用されるものとします。

## 付録 1: 注意/特記事項

### データ転送に関する特記事項

---

本製品には、インターネットを介してマイクロソフトまたはサービス プロバイダーのコンピューター システムに接続する 1 つ以上のソフトウェア機能が含まれます。これらの機能については、「データ転送に関する特記事項」という文書 (<http://microsoft.com/licensing/contracts>) に規定されています。マイクロソフトは、これらの機能を通じて製品に対するサービスを提供します。かかる機能による接続の際に、必ずしも通知が行われるとは限りません。場合によっては、お客様はかかる機能を解除すること、および使用しないことを選択できます。

#### コンピューター情報

これらの機能はインターネット プロトコルを使用しており、お客様のインターネット プロトコル アドレス、オペレーティング システムの種類、ブラウザの種類、お客様が使用しているソフトウェアの名称およびバージョン、お客様がソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コードなどのコンピューター情報を適切なシステムに送信します。

#### 情報の使用

マイクロソフトがこれらの情報を利用してお客様を特定したり、お客様に連絡したりすることはありません。マイクロソフトは、これらの情報を利用して、お客様がソフトウェアを使用する際にサービスを提供します。マイクロソフトでは、ソフトウェアおよびサービスの向上を目的に、コンピューターの情報、アクセラレータの情報、検索候補の情報、エラー報告、マルウェア報告、および URL フィルタリング報告を使用します。また、ハードウェア ベンダーやソフトウェア ベンダーなどの他の企業と情報を共有する場合があります。かかる他の企業は、マイクロソフト ソフトウェアと連携して実行する自社製品の改良のため、共有情報を使用することができます。

#### データ転送に関する同意

これらのソフトウェア機能を使用することにより、お客様はマイクロソフトが、お客様のインターネット プロトコル アドレス、オペレーティング システムの種類、ブラウザの種類、お客様が使用している本ソフトウェアの名称およびバージョン、お客様が本ソフトウェアをインストールしたデバイスの言語コードなどのコンピューター情報を収集することに同意されたものとします。

### H.264/AVC、VC-1 および MPEG-4 PART 2 映像標準に関する注意

---

本ソフトウェアには、H.264/AVC、VC-1 および MPEG-4 Part 2 の映像圧縮テクノロジーが含まれている場合があります。このテクノロジーについては、MPEG LA, L.L.C. により以下の注意書きを表示することが義務付けられています。本製品は、(i) 消費者が AVC、VC-1 および MPEG-4 Part 2 (以下「映像標準」といいます) に準拠した映像を暗号化するか、または、(ii) 消費者が自らの個人的かつ非商業的活動において暗号化したか、かかる映像の頒布に関する許諾を得た映像提供者より入手した AVC、VC-1、MPEG-4 Part 2 映像を復号化するために使用する場合に限り、個人的かつ非商業的用途に関する AVC、VC-1、MPEG-4 Part 2 映像特許ポートフォリオ ライセンスに基づいて使用許諾されています。その他の用途については、明示か黙示かを問わず、いかなるライセンスも許諾されません。詳細については、MPEG LA, L.L.C. から入手できます。[www.mpegla.com](http://www.mpegla.com) をご参照ください。前述の注意は、通常の業務用にソフトウェアを使用することを制限または禁止するものではありません。これには以下は含まれません。(i) 第三者へのソフトウェアの再頒布、または (ii) 第三者への頒布を目的とした、映像標準互換テクノロジーを使用したコンテンツの作成。

### 不要である可能性のあるソフトウェア (注意 1)

---

システムを起動すると、Windows Defender がウイルス、ワーム、ボット、ルートキット、「スパイウェア」、「アドウェア」などのさまざまな種類の悪意のあるソフトウェア (「マルウェア」)、および不要である可能性のあるその他のソフトウェアがないかコンピューター内を検索します。本ソフトウェアの初回使用時に「推奨」のセキュリティ設定を選択した場合、これらのマルウェアおよび不要である可能性のあるその他のソフトウェアのうち危険度が「高」または「重大」であるものは、自動的に削除されます。この削除により、コンピューター上の他のソフトウェアが動作しなくなったり、このようなソフトウェアを使用するためのライセンスに抵触する場合があります。

不要でないソフトウェアも削除または無効化される可能性があります。Windows Defender および Windows Update を使用している場合、Windows Defender は Windows Update により定期的に更新されます。

## 不要である可能性のあるソフトウェア (注意 II)

---

本ソフトウェアは、お客様のコンピューターで深刻度が低から中程度のマルウェアを検索します。これには、スパイウェアや他の不要である可能性のあるソフトウェア (以下、「不要である可能性のあるソフトウェア」といいます) が含まれますが、それらに限定されません。本ソフトウェアは、お客様が同意した場合にのみ、深刻度が低から中程度の不要である可能性のあるソフトウェアを削除または無効化します。この不要である可能性のあるソフトウェアを削除または無効化すると、コンピューター上の他のソフトウェアが動作しなくなる場合があります。また、他のソフトウェアによって、かかるソフトウェアの使用条件としてこの不要である可能性のあるソフトウェアがコンピューターにインストールされている場合、コンピューター上の他のソフトウェアを使用するためのライセンスに抵触する場合があります。この不要である可能性のあるソフトウェアの削除を許可する前に、他のソフトウェアのライセンス契約をお読みください。

本ソフトウェアを使用することで、不要である可能性のないソフトウェアも削除されたり、無効化されたりする場合があります。

## 記録に関する注意

---

地域の法律によっては、個人間のやり取りを傍受、監視、または記録する場合 (あるいはそのすべてを行う場合)、事前の通知または承諾を必要とするものや、個人を特定できる情報の収集、保存、および使用を規制しているものがあります。お客様は、オンライン サービスまたは記録機能 (あるいはその両方) を使用するにあたり、すべての適用法に従い、すべての必要な承諾を得て、すべての必要な開示を行うことに同意するものとします。

## ビデオおよびオーディオ コーデック標準に関する注意

---

Windows Embedded 8.1 Industry ソフトウェアには、ビデオおよびオーディオの暗号化および解読テクノロジーが含まれています。本ソフトウェアは、商用製品またはサービスでの実装または頒布のために使用許諾されるものではありません。お客様が開発するまたは本ソフトウェアと共に使用する商用製品およびサービスに本テクノロジーを含めるためのライセンス権利を特定し確保する責任は、お客様が負うものとなります。

## YAMMER

---

Microsoft Dynamics CRM を Yammer と接続するソフトウェアは、2 つのサービス間で一定のデータを共有できるようにします。お客様またはお客様のエンド ユーザーの指示で、以下のデータは Microsoft Dynamics CRM を通じて Yammer に送信されます。(i) 投稿、(ii) CRM レコードへのリンク、(iii) CRM レコードの説明フィールドに含まれる情報、および (vi) お客様またはお客様のエンド ユーザーが Yammer と共有するその他のアクティビティまたはコンテンツ。Yammer の使用条件については、<https://www.yammer.com/about/terms/> を参照してください。Yammer のプライバシーに関する声明については、<https://www.yammer.com/about/privacy/> を参照してください。Yammer に送信される顧客データにはこの声明が適用されます。